

電気を  
かしこく使う

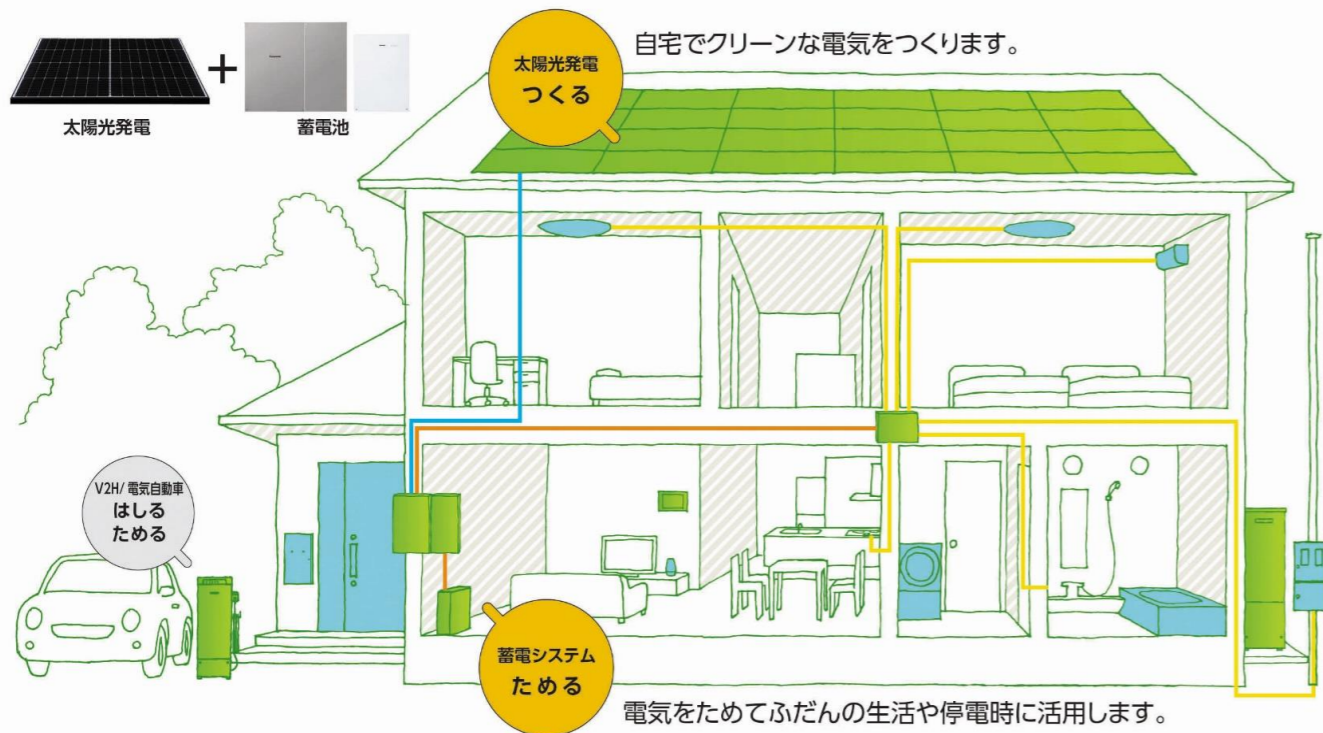
パナソニックの  
[太陽光発電・蓄電システム]

「つくった電気を活用しながら“もしも”に備える」

家計の負担になる電気代を減らすのに節電は欠かせません。  
さらに、自宅で電気をつくってその電気を活用する、そんな暮らしについても考えてみましょう。

電気をつくってためて効率よく活用  
**太陽光発電・蓄電システム**

電気を買う量を大幅に減らして、くらしを楽しみたい。  
もしもの停電のときに備えられたり、クリーンな電気を  
“自家消費”することで環境にも貢献できたり、  
そんな新しいエネルギーライフを始めませんか。



▶詳しくはWEBサイトをご覧ください。 [sumai.panasonic.jp/solar\\_battery/](http://sumai.panasonic.jp/solar_battery/)



**Pick up** 高出力を生み出す技術採用  
PERCセル構造により従来の結晶系よりも電荷消失を低減することで発電量が多く得られます。

太陽電池モジュール **MODULUS (モデュラス)**  
※モジュールの語源で小さな単位

■PERCセル構造採用

当社単結晶太陽電池	従来型結晶系
反射防止膜	反射防止膜
電極タブ	電極タブ
n型拡散層	n型拡散層
より多くの電気を発生 裏面絶縁膜により電荷の消失を低減	P型シリコン基板の裏面で電荷が消失
電極 P型シリコン基板	P型シリコン基板 電極

\*印刷物と実物では色柄が異なりますので、現物の商品サンプルなどでお確かめください。

Point 1

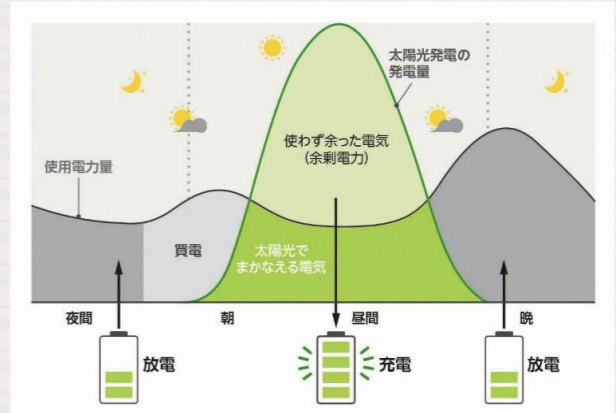
電気代は上昇傾向。  
買う電気を減らして電気代削減

太陽光発電でつくった電気を蓄電池にためて使う「自家消費」。太陽光発電だけの場合と比べて買う電気を減らせて光熱費の節約になり経済的です。

使用電力の自給率

	太陽光発電のみ	太陽光発電+蓄電池	
		蓄電容量6.7kWh	蓄電容量13.4kWh
標準的な家庭	39%	64% 25%アップ <sup>※1</sup>	75% 36%アップ <sup>※1</sup>

自給率 = (太陽光発電(+蓄電池)で使用電力をまかなう量) / 使用電力



※1 太陽光発電のみと比較。パナソニックのシミュレーションにより算出された値であり、保証値ではありません。  
[試験条件]・太陽光容量:5kW・方位:真南 傾斜:30°東京・新築システム運転モード・AIソーラーチャージPlus、4人世帯使用電力:オール電化住宅5,947kWh/年(建築研究所発行の「平成28年省エネルギー基準」に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)発行版)を参考に作成) 2024年5月試算

Point 2

万一の停電にも  
電気が使えて安心

不意に停電が起こったときも、太陽光発電でつくった電気で蓄電池にためた電気が使えます。「夜のあかり」「食事の用意」「情報収集」などに必要な電気が使えて心強い手助けになります。

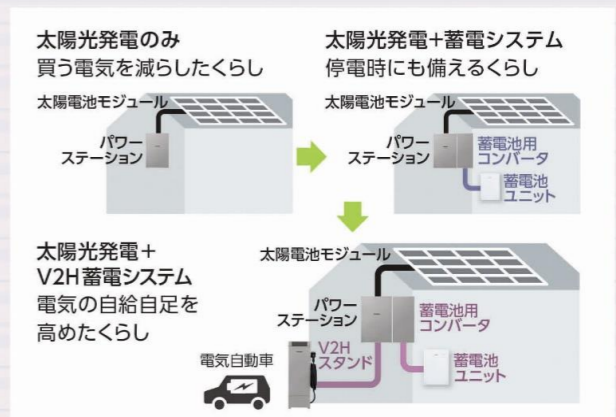


もしもの停電時に、電気が使えないといった不安が解消されます。

Point 3

くらしの変化とともに  
電気の活用方法も変えていく

家族構成やくらしの変化によって電気の使い方も変わっていきます。パナソニックでは屋内外の配線なしで蓄電システムやV2H蓄電システムを増設することができます<sup>※2</sup>。まずは電気をつくるところから始めて、活用度を高めていくという選択もあります。



※2 V2H蓄電システム eneplatの蓄電池ユニット、ならびにV2Hスタンドの後付けにおいては、現行商品または同等品を2033年3月まで販売予定です。また、接続可能な蓄電池ユニット、V2Hスタンドはパナソニック製指定商品に限ります。その他詳しくはカタログにてご確認ください。

太陽光を電気自動車に活用するエコなくらし、停電にも備える安心なくらしへアップデート。